

園長だより

2024年12月13日

園長 澄川忠男

展示物・掲示物っていいですね！

大学（短大）・高校・中学校・小学校・幼稚園（こども園など）、それぞれの校種によって、幼児～学生の展示物や掲示物には明らかな違いがあります。やはり、一番展示物や掲示物が楽しいのは幼稚園などです。何よりも、掲示物はカラフルでかわいく、子どもたちが喜ぶように工夫してあります。今年度、短大の学生さんが遊戯室に掲示してくれているものも、子どもたちのことを考えながら丁寧に作ってくれています。校種が上になるとともに、掲示物は連絡事項やポスターばかりになってくるようです。

下の写真は、園内の掲示物や展示物の一部です。どれも、子どもたちが興味を持って取り組んだり、見ているだけでうれしくなったりするようなものばかりです。私は、もともとが小学校教員ですが、「お前が1年生を担当すると、子どもたちが怖がって学校に来なくなるから、担任させられん！」と30代のころに当時の校長からダメだしされ、教員生活で一度も1年生を担当することができませんでした。（2年生は2回あります（笑））そんな私は、園の教員から学ぶことばかりです。「へえ～」「なるほど！」「そうなんだあ～」と感心することばかりです！さすが、プロです。

前にも書きましたが、子どもたちも小学校とは違い、しっかり時間をとって取り組むことができるので、自分の思いを表現することができます。そして、一人ひとりと教員が向き合い話をしながら取り組むことができます。これも幼稚園などの良いところだと思います。



今は、園内の掲示物は「クリスマス」一色です。子どもたちにとっては、とっても嬉しい行事ですね。子どもたちの作品も飾っています。

園長の独り言

一つは「この年齢になっても勉強になることがたくさんあるなあ」ということです。園長としての仕事はもとより、いろいろな出張に行っても、いろいろな業界・職種の方、年齢が違う方、同じ教員でも校種が違う方、住んでいる地域が違う方などとお話することがたくさんあります。そのたびに、学ぶことがあります、それぞれの立場でのものの考え方、利害関係、目の付け所、こだわりがとても刺激になります。年齢を重ねても学び続けたいといけないかと反省しています。

もう一つは、私がうれしかったことです。朝のお迎えをしているときに「あいさつ」を意識している子どもたちや保護者の方が増えたことや、園長だよりを話題にしてくださる保護者の方がいらっしやることです。読んでくださっているんだなと実感し、とても励みになります。ありがとうございます。これからも頑張らなくっちゃ！